

ゴミの量を平成29年度実績により近隣市町と比較してみました。

市 町 等	搬入ごみ量	人口1人当りの ごみ処理費用	1人1日当たりの排出量 (kg/人日)
エコクリーンセンター (東伊豆町 河津町)	11,014 t	30,642円/ t	1.511kg
伊 東 市	33,638 t	13,439円/ t	1.337kg
下 田 市	9,930 t	21,468円/ t	1.244kg
南 伊 豆 町	3,697 t	29,646円/ t	1.186kg

※東伊豆町・河津町から排出されるごみは、エコクリーンセンターで処理されています。平成29年度は11,014 tを処理しています。町民1人が1日当たりに出すごみの量は1.511kgとなっています。県平均は0.878kgで、県下でワースト2位となっています。

県内外のごみ処理有料化の状況は、県内35市町のうち、熱海市、伊東市、下田市、賀茂郡の他町など17市町がごみ処理費用の一部を負担していただいています。また全国では約65%の自治体が有料制を導入しています。

可燃ごみの処理手数料としていただいている持ち込み手数料も、近隣市町に比べ低料金になっています。

「平成29年度のごみ処理量の比較」を見てもエコクリーンセンターの数値は高い数値になっています。

ごみの減量、適切な分別意識の向上は、施設の維持管理費の軽減及び施設の延命につながります。

また、ごみ排出量に応じた費用の応分負担をしていただくことで、ごみをたくさん出す人と出さない人との公平性が確保できます。

これらのことは両町の厳しい財政状況の中、今後のごみ処理運営の健全化と充実を図るうえで重要なことと考え、東河環境センター・東伊豆町・河津町の3者で協議しながら、ごみ処理手数料等の料金改定、一部有料化に向けて検討を始めた。



炉の中からこんなものが！
燃えるごみに混ざっていたものです
一人ひとりの「これぐらいはいいだろう」
が、故障の原因となります
しっかりと分別をお願いします

ごみ処理費用の一部を負担していただくことで、ごみを出す量を減らす減量意識を高め、公平性を確保し、分別やリサイクルの向上と、財政負担の軽減が図られます。

未永く、良好な状態でエコクリーンセンター東河を利用していただくため、ごみの減量化と分別もあわせて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先
東河環境センター
住民福祉課 地域係
☎951-7111
☎951-6203



ごみ処理に要した費用

単位：千円

年 度	建設・改良費	処理及び維持管理	合 計
27年度	0	359,352	359,352
28年度	0	462,415	462,415
29年度	168,808	444,337	613,145

エコクリーンセンター（東河環境センター）でごみを処理するには、設備の維持・修繕や消耗品・人件費など毎年、経常的に多額の経費がかかっております。

東伊豆町・河津町からそれぞれ支出される町分担金により運営費の大部分を賄っています。



「エコクリーンセンター東河基幹的設備改良工事」を平成29年度から令和元年度まで3か年をかけ実施いたしました。町民の皆様にはごみの減量や持ち込みごみの規制等ご協力をいただきました。総事業費は29億8千6百万円で、約15年の施設延長を図りました。工事は、国の補助金を最大限活用して実施しましたが、地方債（借金の返済は下記のとおりです。

今回の基幹的設備改良工事により、電力消費量を二酸化炭素排出量に換算し、4.52%の削減ができました。しかし、施設が新しくなっても、今後の設備の維持・修繕や借りたお金の返済に多額の費用がかかります。

改良工事の財源

事業費	財源内訳
29億8千6百万円	国庫交付金
	11億8千9百万円
	地方債（借金）
	15億1千3百万円
	一般財源
	2億8千4百万円

今後の地方債の償還額

年 度	元利償還額（借金の返済額）
令和2年度	64万円
令和3年度	7百16万円
令和4年度	6千8百59万円
令和5～14年度	1億2千6百46万円
令和15年度	1億1千9百80万円
令和16年度	5千8百7万円

※負担割合：東伊豆町59.35%、河津町40.65%